

こうえんせいびじぎょう

公園整備事業・・・約3億800万円

人口が集中した街の中に造る公園を都市公園といい、その公園を整備する事業がこの事業です。

公園整備は、自然を保護することで動植物を保全することや季節の変化による美しい景観を創りだすこと、地震等の災害時の避難場所を確保すること、都市住民の健康づくりや休養、憩いの場、遊びの場を造ること等を目的としておこなっています。

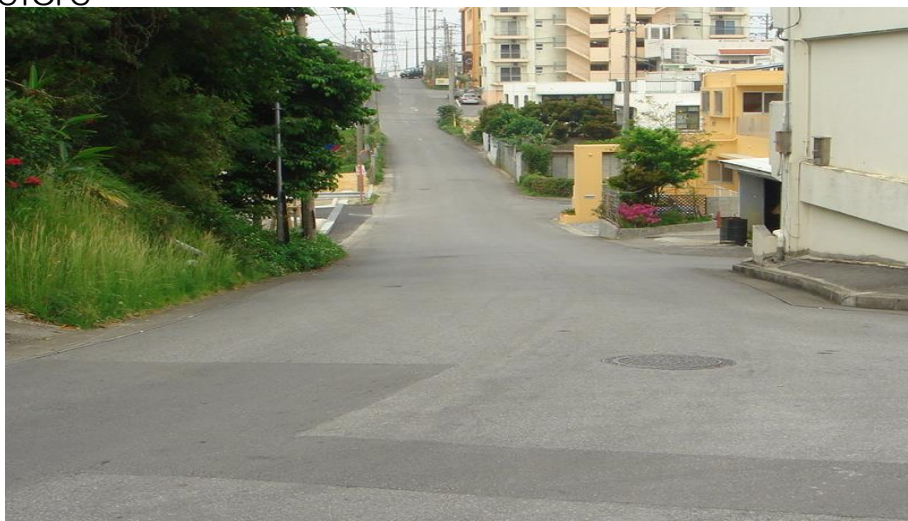


がいろせいびじぎょう

街路整備事業・・・約6億6,300万円

街路整備事業は、必要なところに新しく道路をつくったり、現在の道路を広くすることにより、良好な道路ネットワークの形成による利便性の向上、交通渋滞発生抑制、また両側に歩道を設置し安全に歩ける良好な歩行空間の創出を図る事業です。

before



after



こうきょうげすいどうじぎょう

公共下水道事業・・・約5億円

公共下水道事業は、家庭、工場、事務所などで排出される生活雑排水やトイレで使用された汚水をきれいな水に処理する最終処理場へ運ぶ役割を担っています。最終処理場で処理された水は海や河川の公共水域へ放流されるため、自然環境にやさしく清潔で快適な生活環境を確保できます。

沖縄市の公共下水道の普及率は97%となっております。

あげだしえいじゅうたくたてかえじぎょう

安慶田市営住宅建替事業

・・・約5億6,000万円

安慶田市営住宅は、約40年前に建てられましたので、建物が古くなってきました。そのため、現在の安慶田市営住宅から新しい安慶田市営住宅へ建て替えを行っています。

<事業概要>

- (1) 住宅建設：約198戸
- (2) 事業期間：平成23年度～29年度



ちいきぼうさいたいさくじぎょう

地域防災対策事業・・・約5億3,000万円

各種災害から市民の生命財産を守るため、沖縄市地域防災計画及び第4次沖縄市総合計画に基き、災害に強いまちづくりを推進します。

台風や地震、津波等に関する防災情報を、市民に迅速・的確に伝え安全を確保するため、防災行政無線のデジタル化に取り組んでいます。

また、地震・津波災害に備え、津波避難ビルや避難場所を確保し、災害用備蓄品（生活必需品、食糧、飲料水等）の整備拡充に取り組んでいます。

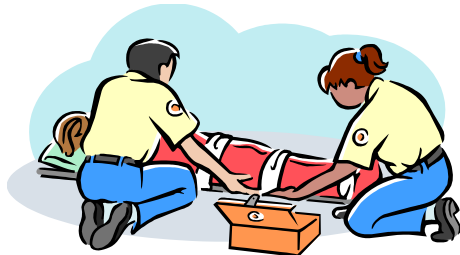
自主防災組織の結成及び育成を行い、地域防災力強化と防災意識の高揚を図り、防災資機材の整備を行います。



きゅうめいしよちふきゅうきょうかじぎょう

救命処置普及強化事業・・・約600万円

災害時等において、市民等に重篤な傷病者が発生した場合、居合わせた方が救急処置をおこなえるよう、救急講習会の開催を増やすとともに、24時間営業のコンビニにAEDを設置し、市民等の救命力の向上と意識啓発に取り組めます。



おんだんかたいさくじぎょう

温暖化対策事業・・・約2,000万円

地球温暖化への対策として、電気や燃料をなるべく使わないことが大切です。

そこで、「地球環境にやさしいまち」をめざして、なるべく多くの住宅に太陽光発電が設置されるようにしたり、燃料の消費をなるべく抑える運転を推進することにより、温室効果ガスを減らすための取り組みをおこなっています。



ほあんとうせっちじぎょう

保安灯設置事業・・・約3,200万円

沖縄市では、夜間における市民の安全を確保し、快適な生活環境の保全・維持のため、各自治会の協力のもと、現在、市内各地へ4,800基あまりの保安灯が設置されております。今後はさらに明るく、消費電力の少ないLED型保安灯への切り替えを推進していきます。

